

平成 28 年度事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日に至る当期間の事業概要は次の通りである。

なお、本会の重要課題であった事務所移転について、ほぼ計画通りに完了し、平成 28 年 9 月 1 日をもって主たる事務所の移転登記を行った。

I. 平成 28 年度食用植物油脂の格付実績

表-1 に平成 24 年度～28 年度の 5 年間に亘る食用植物油脂の JAS 格付実績を精製区分別、用途別、年度別に示す。

平成 28 年度の JAS 検査格付数量は、食用植物油脂全体では 1,321,391 トンであり、前年度対比 101.7%の微増であった。それを用途別に見ると、前年度対比で家庭用が 100.8%の横這い、業務用が 104.3%の微増、加工用が 100.4%と横這いであった。

なお、用途別の家庭用は 7,999g 以下、業務用は 8,000g～16,500g、加工用は 16,501g 以上に区分した。

表-1 食用植物油脂の年度別格付実績の推移 (単位：トン)

精製区分別	用途別	年度				
		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
軽度精製油	家庭用	20,402	21,024	22,324	22,843	23,408
	業務用	16,146	16,241	15,558	14,724	15,727
	加工用	10,310	10,782	10,183	9,285	10,544
	計	46,858	48,047	48,065	46,852	49,679
	(対前年比%)	102.1	102.5	100.0	97.5	106.0
精製油	家庭用	1,309	1,416	1,444	1,649	1,680
	業務用	157,540	151,529	149,383	146,406	151,763
	加工用	214,497	212,223	212,834	213,848	207,170
	計	373,346	365,168	363,661	361,903	360,613
	(対前年比%)	101.1	97.8	99.6	99.5	99.6
サラダ油	家庭用	272,302	279,879	266,260	263,817	265,496
	業務用	223,896	218,457	228,393	233,353	243,974
	加工用	345,563	375,159	385,436	393,405	401,443
	計	847,761	873,495	880,089	890,575	910,913
	(対前年比%)	103.0	103.0	100.8	101.2	102.3
香味食用油	家庭用	—	—	—	—	—
	業務用	107	103	106	138	118
	加工用	102	91	88	102	68
	計	209	194	194	240	186
	(対前年比%)	81.6	92.8	100.0	123.7	77.5
食用油合計	家庭用	300,013	302,319	290,028	288,309	290,584
	業務用	397,689	386,330	393,440	394,621	411,582
	加工用	570,472	598,255	608,541	616,640	619,225
	計	1,268,174	1,286,904	1,292,009	1,299,570	1,321,391
	(対前年比%)	102.4	101.5	100.4	100.6	101.7

II. 平成 28 年度検査及び調査件数の概要

表-2 に、平成 28 年度に実施した検査・調査件数について、平成 27 年度の対比として示したが、総件数として 8,129 件で、対前年度比では 94.9%であった。

表-2 検査・調査件数

項目		平成 27 年度	平成 28 年度	増減 (件)
JAS 規格適合性検査		101	99	▲ 2
JAS 規格検査		6,171	6,158	▲ 13
受託検査		1,392	1,049	▲ 343
BHA 検査		748	733	▲ 15
市販品 買上げ調査	①JAS 製品	61	30	▲ 31
	②国内非 JAS 製品	44	30	▲ 14
	③輸入非 JAS 製品	49	30	▲ 19
	①+②+③=計	154	90	▲ 64
合計		8,566	8,129	▲ 437

III. 平成 28 年度事業及び業務の概要

[認定業務]

- (1) 「農林物資の規格化等に関する法律施行規則（昭和 25 年農林水産省令第 62 号）」（以下 JAS 法と略す）に基づき、本会が認定した JAS 認定工場の定期調査と臨時確認調査及び JAS 規格適合性検査を実施した。
- (2) JAS 法に基づき、品質管理責任者及び格付担当者資格取得のための専門講習会を開催した。
- (3) JAS 認定工場の格付業務に従事する実務担当者を対象とした JAS 格付担当者会議を開催し、JAS 関係業務を主とした連絡事項及び留意点について周知徹底を図った。

[検査証明業務]

- (1) 契約に基づき、JAS 認定工場から提出された試料に対して、食用植物油脂の日本農林規格による JAS 規格検査及び証明業務を行った。
- (2) 求めに応じて、食用植物油脂及び油脂関連製品の品質及び成分並びに残留農薬分析等の受託検査及び証明業務を行った。

[指導業務]

- (1) 契約に基づき、JAS 認定工場のパーム油類製品に対して、BHA 検査及び証明業務を行った。
- (2) JAS 認定工場の製品を対象に、微量金属、CDM 試験等の品質安定性試験を行い、結果について報告した。

- (3) 製造技術や品質管理技術の維持・向上を図るための技術指導（手合わせ分析）を行った。
- (4) JAS 認定工場から申請された商品ラベルについて、JAS 法等への適合性を事前に確認し、承認の通知書を発行した。

[調査研究業務]

- (1) 市場に流通する食用植物油の安全性や表示内容等を確認するために、JAS 製品、国内非 JAS 製品、輸入非 JAS 製品を買上げ、品質調査及び表示内容の確認を行い、結果について製造業者等に通知を行った。

[その他業務]

- (1) 『植物油月報』を一般社団法人日本植物油協会と共同で発行すると共に各種印刷物を作成し配付した。
- (2) 一般社団法人栄養改善普及会が主催する食生活研究活動事業に一般社団法人日本植物油協会と共に協賛した。
- (3) 検査員の分析精度管理の維持・向上を図るためにクロスチェック分析を行った。
- (4) 検査員等の資質の向上を図るため、内部研修会及び機器分析の外部研修会に職員を参加させた。
- (5) JAS 検査試験設備等の更新として、市販品買上げ調査業務にかかるコンピューターシステムの構築を行った。また、協会事務所の移転に伴い、周辺設備の導入を進め、作業環境の向上を図った。

[管理運営関係事項]

- (1) 平成 28 年度に開催した主要な会議は以下の通りである。
 - a) 理事会の開催（5 月 2 回、7 月、10 月、3 月）
 - b) 評議員会の開催（5 月、8 月、3 月）
 - c) JAS 運営委員会の開催（5 月、11 月、3 月）
 - d) 公平性委員会（2 月）
- (2) 人事；採用 3 名
- (3) 独立行政法人農林水産消費安全技術センターによる定期的調査が行われた。

IV. 平成 28 年度事業及び業務の詳細説明

1. 認定事業の内容

(1) JAS 認定工場の認定及び JAS 認定工場の定期調査並びに JAS 規格適合性検査

食用植物油の製造業者等より JAS 認定工場の申請を受けると、JAS 法に基づいて書類審査・実地調査・製品検査を実施し、JAS 認定事業者として適正か否かを判断し認定を行うが、本年度は新たな申請はなかった。また、認定した JAS 認定工場等が認定申請時の水準を保っていることを確認するため、認定時と同様な審査を実施した。

①JAS 認定工場の新規認定

新規認定：なし

②JAS 認定工場定期調査

【調査実施期間】：平成 28 年 9 月～12 月

【調査実施工場数】：53 工場（遠隔地充てん工場を含む）

【内訳】 JAS 認定工場：46 工場（平成 29 年 3 月 31 日現在）

遠隔地充てん工場：7 工場

【調査結果】

改善事項指摘工場数：6 工場

要望事項指摘工場数：39 工場

調査の結果、実施した JAS 認定工場及び遠隔地充てん工場 53 工場中、6 工場について、認定の技術的基準への一部不備及び品質管理上の運用が有効に活用されていない等により改善を要する点が認められたので、内部規程通り適切に品質管理を行うよう文書で問題点を示して改善を求めた。

③JAS 規格適合性検査

表-3 に、JAS 認定工場の製品に対する JAS 規格適合性を確認するための検査を行った件数を示す。その結果、JAS マークの付された製品は、すべて JAS 規格項目に適合した良好な製品であった。また、契約に基づき過酸化価の分析を行うと共に、安全性確認のためにヒ素及び重金属について確認分析を行ったが、すべて問題のない製品であった。

表-3 JAS 規格適合性検査件数

区 分	件 数
軽度精製油（調合油、なたね油、ごま油等）	13
精製油（パーム油、調合油、なたね油等）	54
サラダ油（なたね油、とうもろこし油、こめ油等）	32
合 計	99

(2) 品質管理責任者及び格付担当者資格取得専門講習会の開催

食用植物油の JAS 認定の技術的基準によって義務付けられている品質管理責任者及び格付担当者の資格取得のための専門講習会を次の通り開催した。

[開催年月日]：平成 28 年 8 月 4 日（木）～8 月 5 日（金）

[受講場所]：油脂工業会館 9 階会議室

[受講者数]：35 名

[講習会内容]：

- ①植物油を取り巻く環境と関連法規
- ②食用植物油の品質管理に伴う工程管理及び衛生管理
- ③食用植物油の基礎知識と品質管理に用いられる分析法及びデータ処理
- ④食用植物油の JAS 関連法規
- ⑤食用植物油の格付実務・ラベル管理の留意点

なお、専門講習会を受講した 35 名は、全員講習を修了した。

(3) JAS 格付担当者会議の開催

JAS 認定工場の格付業務に従事する担当者を対象として、本会と格付担当者との緊密な意思の疎通及び JAS 業務の円滑な運営を図ることを目的として、格付担当者会議を開催し、JAS 関係業務に係る実務面の留意事項や連絡事項について周知徹底を図った。

なお、会議に先立って東京工科大学 応用生物学部 教授 遠藤 泰志氏による「食品微生物と脂質」と題する特別講演を行った。

本会議の詳細は次の通りであった。

[開催年月日]：平成 29 年 2 月 24 日（金）

[受講場所]：主婦会館プラザエフ地下 2 階 クラルテ

[参加者数]：57 名

[参加工場数]：46 工場

[会議内容]：

《特別講演》

「食品微生物と脂質」

東京工科大学 応用生物学部 教授 遠藤 泰志氏

《周知・報告事項》

- 1)JAS 認定工場との検査委託契約更新について
- 2)公益財団法人日本油脂検査協会の規程関係「JAS 製品の表示の手引き」について
- 3)平成 28 年公益財団法人日本油脂検査協会の業務報告
①平成 28 年（1-12 月）食用植物油 JAS 格付結果報告書

- ②製品検査結果（平成 28 年度）
- ③JAS 製品の品質安定性確認試験結果（平成 28 年度）
- ④JAS 製品の買上げ調査結果（平成 28 年 1～12 月）
- ⑤国内非 JAS 製品の買上げ調査結果（平成 28 年 1～12 月）
- ⑥輸入非 JAS 製品の買上げ調査結果（平成 28 年 1～12 月）
- ⑦過去のオリーブ油製品の買上げ調査結果集計
- ⑧平成 28 年度 JAS 認定工場定期確認調査結果

4)JAS 業務等における認定工場への周知及び連絡事項

2. 検査証明事業の内容

(1) JAS 規格検査数及び証明実績

表-4 に、契約に基づき証明業務を行った JAS 規格検査件数を示す。前年対比は件数ベースで 99.8%、金額ベースで 99.7%の微減になった。

表 4-1 JAS 規格検査件数

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	増減 (件)
JAS 規格検査数	6,171	6,158	▲ 13

(2) 受託検査件数及び証明実績

表-5 に、求めに応じて JAS 法及び食品衛生法等の関係法規に定められている検査方法に基づいて、食用植物油脂及び油脂関連製品の品質及び成分並びに残留農薬分析等の受託検査件数及び証明数の実績を示す。受託項目件数の前年対比では件数ベースで 77.1%に減少し、金額ベースでは 83.8%に減少した。

表-5 受託検査件数及び証明実績

		平成 27 年度	平成 28 年度	増減 (件)	対前年比(%)
受託件数		1,392	1,049	▲ 343	75.4
受託項目件数		3,684	2,839	▲ 845	77.1
受託 件数 の内 訳	JAS 規格項目	1546	916	▲ 630	59.2
	栄養成分	131	77	▲ 54	58.8
	微量金属	618	596	▲ 22	96.4
	微量化学物質	46	37	▲ 9	80.4
	石ケン分	15	10	▲ 5	66.7
	残留農薬(個別)	134	127	▲ 7	94.8
	残留農薬(一斉)	38	46	▲ 8	121.1
	食品添加物	653	631	▲ 22	96.6
	有機溶剤	44	65	▲ 21	147.7
	残留熱媒体	23	17	▲ 6	73.9
	脂肪酸組成	140	83	▲ 57	59.3
	ビタミン類	35	22	▲ 13	62.9
	その他	261	212	▲ 49	81.2

3. 指導事業の内容

(1) BHA 検査件数及び証明実績

表-6 に、JAS 認定工場との契約に基づき実施したパーム油類製品に対する BHA 検査件数を示す。前年対比は件数ベース、金額ベース共に 98.0%に減少した。

表-6 BHA 検査件数及び証明実績

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	増減 (件)	対前年比(%)
BHA 検査数	748	733	▲ 15	98.0

(2) 品質安定性確認検査件数

表-7 に、JAS マークの付された製品を対象に実施した油脂の安定性に関する項目（鉄、銅、発煙点、引火点、CDM 等）の検査件数を示す。

その検査結果は JAS 認定工場に対し当該製品の製造工場の製造技術、品質管理技術の維持・向上に資するよう、書面に取りまとめて報告した。

表-7 品質安定性確認検査件数

区分	件数
軽度精製油（調合油、なたね油、ごま油等）	7
精製油（パーム油、調合油、なたね油等）	26
サラダ油（なたね油、とうもろこし油、調合油等）	20
合計	53

(3) 技術分析（手合わせ分析）件数

認定工場からの求めに応じ、JAS 規格項目を中心に 1 社に対し手合わせ分析を本会にて実施した。

(4) 商品ラベルの事前確認

JAS 認定工場から申請された 793 件の商品ラベルについて、JAS 法等への適合性を事前に確認し、すべてについて承認の通知書を発行した。

4. 調査研究事業の内容

食用植物油の JAS 製品及び JAS マークの付されていない国内製品や輸入製品を自主的に買上げ、JAS 規格項目、品質安定性項目及び安全性項目の確認調査を行うと共に、その商品ラベルに記載された事項が JAS 法、食品表示法をはじめとする関連法規に適合しているか、また表示と内容物との整合性について確認を行った。得られた情報に関しては、製造者や販売者等に情報提供するために通知して、食の安全と信頼の確保に寄与すると共に一般消費者の保護に努めた。

(1) JAS 製品の買上げ調査

表-8 に、JAS マークが付された商品を全国の小売店、スーパーマーケット等で買上げ、製品の表示事項や品質内容等について調査を行った件数を示す。

その結果、JAS マークの付された製品は、すべて JAS 規格項目に適合した良好な製品であった。

表-8 JAS 製品の買上げ調査件数 (予定件数 : 30 件)

区 分	家庭用	業務用	件数
軽度精製油 (ごま油、なたね油)	3	0	3
精製油 (ぶどう油、なたね油)	2	7	9
サラダ油 (サフラワー油、なたね油、こめ油等)	10	8	18
合 計	15	15	30

(2) 国内非 JAS 製品の買上げ調査

表-9 に、国内に流通する JAS マークが付されていない食用植物油脂 (国内非 JAS 製品) について、認定工場で製造された製品及び認定工場以外で製造された製品の品質並びに表示に関し調査を行った件数を示す。

市場に流通する食用植物油脂が過去と比較し多様化している現状から、本年度も昨年度と同様に JAS 規格にない種類の製品も調査対象とし、JAS 規格項目の分析の他、安全性の確認としてヒ素、重金属、鉄、銅等の分析調査を行った。

また、調査を行った国内非 JAS 製品の表示について、食品表示法をはじめとする関連法規に抵触する恐れのある製品もあることから、表示に関するパンフレットを各製造業者・販売業者に対し調査結果と共に送付した。

表-9 国内非 JAS 製品の買上げ調査件数 (予定件数 : 30 件)

区 分	件 数
JAS 規格にある種類の製品 (なたね油、ごま油、こめ油等)	27
JAS 規格にない種類の製品 (亜麻仁油、荳胡麻油、栄養機能食品等)	3
合 計	30

(3) 輸入非 JAS 製品の買上げ調査

表-10 に、輸入非 JAS 製品の品質及び表示について調査を行った件数を示す。国内非 JAS 製品と同様に、製品の品質及び製造技術の向上を図るため、JAS 規格にある種類の製品及び JAS 規格にない種類の製品の JAS 規格項目の分析の他、安全性の確認としてヒ素、重金属、鉄、銅及び食品添加物や酸化防止剤の調査としてシリコーンについて分析調査を行った。

また、輸入非 JAS 製品の表示についても、食品表示法をはじめとする関連法規に抵触する恐れのある製品もあることから、表示に関するパンフレットを各製造業者・販売業者に対し調査結果と共に送付した。

表-10 輸入非 JAS 製品の買上げ調査件数 (予定件数 : 30 件)

区 分	件 数
JAS 規格にある種類の製品 (ぶどう油、オリーブ油、やし油等)	29
JAS 規格にない種類の製品 (亜麻仁油、荳胡麻油、胡桃油等)	1
合 計	30

5. その他の事業内容

(1) 刊行物・各種印刷物の作成配付

- ①『植物油月報』の発行
- ②植物油脂を取り巻く環境と関連法規
- ③食用植物油脂の品質管理に伴う工程管理及び衛生管理
- ④食用植物油脂の基礎知識と品質管理に用いられる分析法及びデータ処理
- ⑤食用植物油脂の JAS 関連法規
- ⑥食用植物油脂の格付実務・ラベル管理の留意点
- ⑦食用植物油脂の日本農林規格及び関係諸規程（法律、法令関係）
- ⑧平成 28 年（1-12 月）食用植物油脂 JAS 格付結果報告書

上記①は一般社団法人日本植物油協会と共同で作成し関係先に毎月 1 回配付した。

②～⑥は資格取得専門講習会テキストとして受講者に配付した。

⑦は JAS 規格改正に伴い各認定工場及び関係機関等に配付した。

⑧は格付担当者会議等の参考資料として配付した。

(2) 植物油脂の JAS 普及啓発

JAS マーク製品の普及啓発と植物油脂の正しい知識及び消費増進を図ることを目的として、一般社団法人日本植物油協会と共に一般社団法人栄養改善普及会主催の食生活研究活動事業に協賛し、JAS 製品に対する啓発と普及の促進に努めた。

(3) 人材育成・教育

[内部研修会]

平成 28 年 8 月 4 日～5 日 「品質管理責任者及び格付担当者資格取得専門講習会」
受講者 後藤大和、御園生和子、渡辺真実、中村真優子

[外部研修会及び説明会]

平成 28 年 4 月 6 日 「食品表示基準に基づく製造所固有記号の届出に関する事業者説明会」 受講者 戸島伸聡

平成 28 年 5 月 23 日～24 日 「第 17 回日本油化学会フレッシュマンセミナー」 受講者 茂木温子

平成 28 年 6 月 10 日 「LC 基礎トレーニングコース」 受講者 御園生和子

平成 28 年 7 月 8 日 「防火管理者講習会」 受講者 小笠原利昌

平成 28 年 10 月 4 日 「計量制度見直しに係る関係団体向け説明会」 受講者 吉井俊行

平成 28 年 10 月 24 日～25 日 「第 3 回国際こめ油会議」 受講者 戸谷洋一郎

平成 28 年 11 月 9 日 「平成 28 年度分年末調整等説明会」 受講者 大場昌子

平成 28 年 11 月 11 日 「第 24 回植物油栄養懇話会」 受講者 戸谷洋一郎、小笠原利昌

平成 28 年 11 月 24 日～25 日 「第 16 回基準油脂分析試験法セミナー」 受講者 後藤大和

平成28年11月29日	「パワフル会計公益業務支援セミナー」受講者 大場昌子
平成29年1月26日	「一般社団法人日本農林規格協会特別セミナー」受講者 吉井俊行 戸島伸聡 三橋直幸
平成29年1月27日	「ISO/IEC17025 認定取得セミナー」受講者 戸島伸聡
平成29年1月31日	「JAB 試験所認定制度説明会」受講者 三橋直幸
平成29年2月8日	「食品のインターネット販売における情報提供について」受講者 杉本巖
平成29年3月10日	「普通救命講習」受講者 御園生和子
平成29年3月13日	「決算オペレーション説明会」受講者 大場昌子
平成29年3月21日	「ISO/IEC17025 規格解説セミナー」受講者 三橋直幸
平成29年3月23日	「ISO/IEC17025 入門、認定、準備コース」受講者 戸島伸聡
平成29年3月31日	「ISO/IEC17025 認定取得セミナー」受講者 秦真理子

(4) JAS 検査試験設備等の更新

JAS 検査試験設備等の更新として、予算計上した市販品買上げ調査業務にかかるコンピューターシステムの構築を行った。また、協会事務所の移転に伴い、器具洗浄等周辺設備の導入を進め、作業環境の向上及び業務の効率化を図った。

6. 管理運営関係事項

(1) 会議の開催

平成28年度に開催した主要な会議は以下の通りである。

a) 理事会

▶ 平成28年度第1回理事会

平成28年5月10日（火）に如水会館「けやきの間」において、第1回理事会を開催し、次の提出議案について審議し、承認を得た。また報告事項は下記の通りであった。

【議案】

- 第1号議案 平成27年度事業報告書（案）承認に関する件
- 第2号議案 平成27年度決算報告書（案）承認に関する件
- 第3号議案 公平性委員会委員の選任（案）承認に関する件
- 第4号議案 公平性委員会規則一部改定（案）承認に関する件
- 第5号議案 JAS 運営委員会の委員の選任（案）承認に関する件
- 第6号議案 事務所移転に伴う事務所改修業者選定方法（案）承認に関する件
- 第7号議案 平成28年度第1回評議員会の招集に関する件

[報告事項]

- ① 協会の事務所移転にかかる進捗状況について
- ② 平成 27 年度（4～3 月）の市場流通製品等の買上げ調査結果について
- ③ 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
- ④ 今後の理事会開催日程について

▶ 平成 28 年度第 2 回理事会

平成 28 年 5 月 20 日（金）に本会事務所において、第 2 回理事会を開催し、次の提出議案について審議し、承認を得た。

[議案]

- 第 1 号議案 事務所移転に伴う賃貸契約の締結（案）承認に関する件
- 第 2 号議案 事務所移転に伴う事務所改修業者等の選定（案）承認に関する件

▶ 平成 28 年度第 3 回理事会

平成 28 年 7 月 22 日（金）に本会事務所において、第 3 回理事会を開催し、次の提出議案について審議し、承認を得た。また報告事項は下記の通りであった。

[議案]

- 第 1 号議案 当協会の主たる事務所移転（案）承認に関する件
- 第 2 号議案 特定費用準備資金「事務所移転積立預金」取崩し（案）承認に関する件
- 第 3 号議案 公平性委員会委員の補欠選任（案）承認に関する件
- 第 4 号議案 JAS 運営委員会の委員の選任（案）承認に関する件
- 第 5 号議案 平成 28 年度第 2 回評議員会の招集に関する件

[報告事項]

- ① 協会事務所の移転にかかる進捗状況及び今後の予定について

▶ 平成 28 年度第 4 回理事会

平成 28 年 10 月 27 日（木）に新大橋リバーサイドビル 1017 階貸会議室において、第 4 回理事会を開催し、提出議案はなく、報告事項は下記の通りであった。

[報告事項]

- ① 平成 28 年度上半期の事業活動報告（4～9 月）
- ② 協会事務所の移転完了にかかる概要について
- ③ 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
- ④ 検査委託契約書の更新について
- ⑤ 今後の理事会開催日程について

▶ 平成 28 年度第 5 回理事会

平成 29 年 3 月 7 日（火）に如水会館「けやきの間」において、第 5 回理事会を開催し、次の提出議案について審議し、承認を得た。また報告事項は下記の通りであった。

[議案]

- 第1号議案 平成29年度事業計画書(案)承認に関する件
- 第2号議案 管理部門収入(法人会計収入)の取り扱い(案)承認に関する件
- 第3号議案 平成29年度正味財産増減予算書(案)承認に関する件
- 第4号議案 JAS運営委員会の委員の選任(案)承認に関する件
- 第5号議案 平成28年度第3回評議員会の招集に関する件

[報告事項]

- ① 評議員辞任に伴う当協会評議員の補欠選任について
- ② JAS認定工場との検査委託契約更新について
- ③ 監督官庁による定期的調査の結果について
- ④ 平成28年(1~12月)の市場流通製品等の買上げ調査結果について
- ⑤ 理事長及び専務理事の職務の執行状況について
- ⑥ 農林物資の規格化等に関する法律等(JAS法等)の今後の方向性について
- ⑦ 今後の理事会開催日程について

b) 評議員会

▶ 平成28年度第1回評議員会

平成28年5月26日(木)に如水会館「桜の間」において、第1回評議員会を開催し、次の提出議案について審議し、承認を得た。また報告事項は下記の通りであった。なお、当該評議員会終了後懇親パーティーを開催した。

[議案]

- 第1号議案 平成27年度事業報告書(案)承認に関する件
- 第2号議案 平成27年度決算報告書(案)承認に関する件
- 第3号議案 評議員会議長互選に関する件

[報告事項]

- ① 協会の事務所移転にかかる進捗状況について
- ② 事務所移転に伴う事務所改修業者の選定について
- ③ 公平性委員会委員の選任について
- ④ 公平性委員会規則一部改定について
- ⑤ JAS運営委員会の委員の選任について
- ⑥ 平成27年度(4~3月)の市場流通製品等の買上げ調査結果について
- ⑦ 今後の評議員会開催日程について

▶ 平成28年度第2回評議員会

平成28年8月8日(月)に書面による第2回評議員会を開催し、次の提出議案について審議し、承認を得た。また報告事項は下記の通りであった。

[議案]

- 第1号議案 協会事務所移転に伴う定款の一部変更(案)承認に関する件

[報告事項]

- ① 協会事務所の移転にかかる進捗状況について
- ② 特定費用準備資金「事務所移転積立預金」取崩しについて
- ③ 公平性委員会委員の補欠選任について
- ④ JAS 運営委員会の委員の選任について

▶ 平成 28 年度第 3 回評議員会

平成 29 年 3 月 23 日（木）に如水会館「桜の間」において、第 3 回評議員会を開催し、次の提出議案について審議し、承認を得た。また報告事項は下記の通りであった。

[議案]

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業計画書（案）承認に関する件
- 第 2 号議案 管理部門収入（法人会計収入）の取り扱い（案）承認に関する件
- 第 3 号議案 平成 29 年度正味財産増減予算書（案）承認に関する件
- 第 4 号議案 評議員の補欠選任（案）承認に関する件

[報告事項]

- ① JAS 運営委員会の委員の選任について
- ② JAS 認定工場との検査委託契約更新について
- ③ 監督官庁による定期的調査の結果について
- ④ 平成 28 年（1～12 月）の市場流通製品等の買上げ調査結果について
- ⑤ 農林物資の規格化等に関する法律等（JAS 法等）の今後の方向性について
- ⑥ 今後の評議員会開催日程について

c) JAS 運営委員会

▶ 平成 28 年度第 1 回 JAS 運営委員会

[日時]：平成 28 年 5 月 12 日（木）

[場所]：油脂工業会館 9 階会議室

[評議員会提出議題]

- ① 平成 27 年度事業報告書（案）承認に関する件
- ② 平成 27 年度決算報告書（案）承認に関する件
- ③ 評議員会議長互選に関する件

[報告事項]

- ① 協会の事務所移転にかかる進捗状況について
- ② 事務所移転に伴う事務所改修業者の選定について
- ③ 公平性委員会委員の選任について
- ④ 公平性委員会規則一部改定について
- ⑤ JAS 運営委員会の委員の選任について
- ⑥ 平成 27 年度（4～3 月）の市場流通製品等の買上げ調査結果について

⑦ 平成 28 年度第 2 回 JAS 運営委員会の開催日について

▶ 平成 28 年度第 2 回 JAS 運営委員会

[日時]：平成 28 年 11 月 9 日（水）

[場所]：新大橋リバーサイドビル 101 7 階貸会議室

[報告事項]

- ① 平成 28 年度上半期の事業活動報告（4～9 月）
- ② 協会事務所の移転完了にかかる概要について
- ③ 検査委託契約書の更新について
- ④ 次年度の JAS 運営委員会の委員の選任について
- ⑤ 平成 28 年度第 3 回 JAS 運営委員会の開催について

▶ 平成 28 年度第 3 回 JAS 運営委員会

[日時]：平成 29 年 3 月 10 日（金）

[場所]：新大橋リバーサイドビル 101 7 階貸会議室

[評議員会提出議題]

- ① 平成 29 年度事業計画書（案）承認に関する件
- ② 管理部門収入（法人会計収入）の取り扱い（案）承認に関する件
- ③ 平成 29 年度正味財産増減予算書（案）承認に関する件
- ④ 評議員の補欠選任（案）承認に関する件

[報告事項]

- ① JAS 運営委員会の委員の選任について
- ② JAS 認定工場との検査委託契約更新について
- ③ 監督官庁による定期的調査の結果について
- ④ 平成 28 年（1～12 月）の市場流通製品等の買上げ調査結果について
- ⑤ 農林物資の規格化等に関する法律等（JAS 法等）の今後の方向性について
- ⑥ 平成 29 年度第 1 回 JAS 運営委員会の開催について

d) 公平性委員会

以下の内容にて公平性委員会が開催され、特段の問題がなく認定業務の公平性が担保されていることが確認された。

[日時]：平成 29 年 2 月 3 日（金）

[場所]：新大橋リバーサイドビル 101 7 階貸会議室

[審議事項]

- 1) 事務所移転について
- 2) 認定業務における業務規程の公平性について
- 3) 認定業務における組織体系の公平性について
- 4) 認定業務における財務資源の公平性について
- 5) 認定業務における要員の公平性及び力量評価について

6)認定業務における運営状況の公平性について

(2) 人事；職員の採用

平成 28 年 4 月 1 日 職員 3 名採用（御園生和子、渡辺真実、中村真優子）

(3) 独立行政法人農林水産消費安全技術センター本部の定期的調査

独立行政法人農林水産消費安全技術センター本部が登録認定機関に対して 1 回/年に実施する定期的調査（格付品調査、立会調査、製品検査施設調査、事業所調査）が行われた結果、登録認定機関としての体制が適正に維持、運用されているとの判定がされ、認定業務が適正に行われていることが確認された。

(4) 庶務事項

a) 協会分析室の作業環境測定

有機溶剤中毒予防規則に基づき、平成 28 年 10 月 28 日に作業環境測定機関である「公益財団法人ちば県民保健予防財団」に当協会の作業場に対し、作業環境測定を行ってもらい、「作業環境濃度が適切であると判断される状態」との判定を受け、作業環境に問題ないことが確認された。

b) 協会分析室の器具洗浄廃液の水質検査

事務所移転に伴い、下水道法及び水質汚濁防止法に基づいて、分析室における器具等の洗浄時に発生する 2 次廃液について、平成 28 年 9 月 26 日、10 月 31 日及び平成 28 年 11 月 28 日に検査用試料を採取し、「エヌエス環境株式会社」において水質検査を行ってもらい、「排水管理基準以下である」ことを確認した。

c) 特殊健康診断の実施

労働安全衛生法に基づき、検査・試験業務を行っている職員に対し年 2 回の特殊健康診断（有機溶剤健康診断）を実施し、業務が職員の身体に対し悪影響を及ぼしていないことを確認した。

実施日：1 回目 平成 28 年 9 月 15 日、9 月 29 日、9 月 30 日

2 回目 平成 29 年 3 月 1 日、3 月 15 日、3 月 16 日

平成 28 年度事業報告 附属明細書

平成 28 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 日本油脂検査協会